

## 実務家講演会①

# 「それでも私が司法書士を続ける理由」

平成29年8月6日(日)

司法書士 若田 摩衣子 先生

### 1. はじめに

- ・今後10～20年程度で米国の総雇用者の約〇〇%の仕事が自動化されるリスクが高い
- ・8月3日は何の日？
- ・司法書士業務は「使命」か「ビジネス」か？  
⇒やる気、モチベーションを持続するのが必要な理由

### 2. 司法書士という職業イメージ

①合格するまで 司法試験の派生バージョン？



②合格後の勤務司法書士時代 スピード命の運び屋？



③独立開業してから 仕事と人を選ばないと命取り？

### 3. 忘れられない事件の数々

- ①「月報司法書士」に書いたら新訴訟物理論の新堂幸司先生からお手紙をいただいた話
- ②「私の言いたいことがすべて書かれています」と依頼者に感心された内容証明郵便の話
- ③話が終わって帰ろうと思ったらこわい人にかからまれて依頼者がメモを食べてしまった話
- ④「どの目が出ても2マスしか進まないすごろく」でトレンドイエエンジェルにネタにされた話  
⇒なぜかモヤモヤした事件が舞い込んでくる、もしかして……これが私の「使命」？

### 4. さいごに

わかりやすい事件ばかりじゃないので「△△」が第一



「△△」のためには背景として専門知識が必要(法律分野の「△△」には法律知識が必要)



聞き手自身の不調(疲れ, 悩み)は「△△」そのもののスキル低下につながる



自分自身のメンテナンスが必要, 時には思い切ってリセットすることも大事